

令和5年度

学校教育自己診断アンケート結果報告



令和6年
宜真高等学校

評価結果から

A=よく当てはまる B=やや当てはまる C=あまり当てはまらない D=まったく当てはまらない E わからない

—分析と目標—

A+B=当てはまる C+D=当てはまらない

※今年度から項目E(わからない)を追加

ABCDEF数値は小数点第一位で四捨五入、合計は必ずしも100にはならない

①学校運営		A	B	A+B	C	D	C+D	E
教職員	1 各分掌や委員会、学年間の連携は必要十分な機能を果たしている。	9%	48%	58%	36%	3%	39%	3%
	2 各部署・分掌の配置は、能力・適性・人数において必要十分な環境にある。	6%	15%	21%	58%	18%	76%	3%

分析と措置と目標

設問1のセクション間の連携については、半数以上が肯定的にとらえていることがわかるが、4割近くはまだ十分とは感じていないという割合となっている。連携の有効度は平素の連絡・報告体制の即時性・頻度・精度によって大きく左右される。必要な連絡事項の優先度の判断、誰から誰へ、のルート付けなどを再確認していきたい。また設問2の人員配置については必要十分な体制とは言い難い、という割合が高く出ている。これは今年度から教員の負担軽減のため、一人あたり平均2.6分掌の割り当てだったものを2分掌に減じた結果、必然的に各係の人数が1~3人程度少なくなったことへのとまどいに起因したと思われる。個々の配置に関しては面談や希望調査に基づいて行っているが、係の定員数については改めて調整していきたい。回答率が6割という点も顧慮しておきたい。

②特色づくり		A	B	A+B	C	D	C+D	E
教職員	3 女子校ならではの特色ある教育的指導がなされ、その効果が現れていると感じる。	27%	52%	79%	18%	0%	18%	3%
	4 コース独自の授業やガイダンス等を、コースの目的に沿うものかどうか見直して改善を図っている。	24%	42%	67%	27%	3%	30%	3%
保護者	1 宣真高校は、他校にはない独自の教育活動に取り組んでいる。	39%	44%	83%	8%	1%	9%	8%
生徒	1 コースやエリアの行事や授業には、他の学校にはない特色がある。	46%	38%	84%	10%	1%	11%	6%

分析と措置と目標

本校の教育上の独自性に対する評価として、教職員・保護者・生徒ともおよそ8割が肯定的評価を示しているのは、私学女子校である本校にプラスアルファの付加価値をつけたいという永年の試行錯誤の現れといえるのではないかと。コースやエリア、設定科目、独自の行事やガイダンスが有益となるように工夫し続けてきた成果なので、今後も他校にはない特性を磨いていきたい。ただし設定した各種項目については、内容が古くなったり、より興味深く効果的なプランが案出されたときは、すみやかに刷新する体制に移るよう心がける。

③学校生活・学校行事		A	B	A+B	C	D	C+D	E
教職員	5 生徒は学校生活全般を楽しんでいるようである。	12%	67%	79%	18%	3%	21%	0%
	6 文化祭・体育祭・校外学習などの全校行事は有意義なものとなるよう考えている。	30%	45%	76%	18%	6%	24%	0%
保護者	2 学校生活は全般的に充実しており楽しいようである。	39%	43%	82%	13%	3%	17%	2%
	3 学校行事は生徒が積極的に参加できるよう工夫されている。	33%	47%	79%	12%	2%	14%	7%
生徒	2 学校生活は全般的に楽しく充実している。	32%	42%	74%	17%	5%	22%	4%
	3 生徒同士や、先生と生徒の仲はよいほうである。	32%	44%	76%	15%	3%	18%	7%
	4 学校行事(校外学習・体育祭・文化祭など)は積極的に参加できるよう工夫されている。	33%	42%	75%	17%	3%	20%	6%

分析と措置と目標

4年度は新型コロナウイルスの影響から規模縮小・中止があったが、3年度4年度の保護者・生徒の「楽しく充実している。工夫されている。」という回答率とほぼ同じ数値であった。今年度の行事は実施されたにもかかわらず、「楽しく充実している。工夫されている。」という回答率は約4%減少している。保護者や生徒が期待していたという表れであると考えられる。その反面、教職員の観点からは、生徒たちは有意義で楽しめていると受け止め方で、4年度より「楽しめている」は6%、「有意義なものになるように」は19%と増加している。保護者・生徒と教職員の考えにズレがある。「先生と生徒の仲」という回答率は7%減少しており、日頃のコミュニケーションの不足がズレを生じているのではないかと考える。今後は生徒が楽しいと思える、一方通行にならないような学校行事を運営し、生徒が求めていることは何かを考察して企画していく必要があると思う。

④家庭への発信・連絡		A	B	A+B	C	D	C+D	E
教職員	7 保護者への連絡、または保護者からの相談について丁寧に対応している。	61%	36%	97%	0%	3%	3%	0%
保護者	4 保護者からの質問や相談に適切に応じている。	40%	51%	90%	8%	2%	10%	3%
	5 生徒の様子や状況について必要十分な連絡や報告がくる。	37%	44%	81%	16%	3%	19%	2%

分析と措置と目標

教職員サイドの意識の高さはいまでもなく、それを受けての保護者サイドの肯定的評価が80~90%あるというのは喜ばしく感じられる。出欠に関する連絡をはじめ、気になる言動や交友関係での出来事、ケガ・疾病に関するなど多岐にわたる報告内容を家庭と共有することは、生徒の成長の確認の上からも必須行為と思われる。今後も連絡遅れ、連絡ミスなどが起こらないように高い意識を持って家庭連絡に当たりたい。

⑤学習状況・学力指導		A+B	E
保護者	6 授業が分かりやすく楽しいようである。	65%	9%
	7 授業をとおして、さまざまな知識・技能が身についたと思える。	73%	6%
生徒	5 先生の授業の内容・話し方は、わかりやすく聴き取りやすい。	60%	9%
	6 授業を通して、さまざまな知識・技術が身についたと思える。	68%	9%
分析と措置と目標 本項目においては、昨年度アンケート結果より全体的に10ポイントほど「A+B」評価が下落している。授業内容や授業進行、内容理解度を満足するものにするには教授活動においては重要な要素であり、教員の教授活動の研究・改善を加速させていきたい。 また、次年度より全学年タブレット所持が完成することも含め、授業のICT化を更に促進し、ICT機器を駆使しながら「わかる授業」（視覚的アプローチ）や「積極参加できる授業」（アクティブラーニング）の展開が不十分な点もあることから、全ての生徒や保護者に満足のいく授業展開がなされていないことも評価として頂戴している点は、一早く取り組みたいと考える。			

⑥不登校対応		A+B	E
保護者	16 不登校の生徒についても進級・進路保障に関して細やかな配慮がなされている。	50%	40%
生徒	16 辛くなったときに教室以外で学習できる居場所がある。	66%	25%
分析と措置と目標 自分自身の中に抱える課題（人間関係構築及び体調面・心理面課題）と向き合いながら安心して登校を継続できる「過ごしやすい」カウンセリング室や保健室の環境がソフト面を中心に年々整備されており、各種の学校行事やコース行事に参加するカウンセリング室生の姿を頻繁に見かけるようになっている。このような結果を生み出しているのは、生徒本人、保護者、カウンセリング担当者、担任、学年との間で、適時対応する連携が長年の制度実施により構築されてきていることが裏付けとなっている。 しかし、本校の制度を御存じないご家庭や登校できている生徒の保護者の方は「わからない」を選択されており、その割合が4割を占めているため、A+Bの割合が去年より減少している。また引き続き相談しやすい場所の周知も必要かと思われる。			

⑦進路保障・進路指導		A	B	A+B	C	D	C+D	E
教職員	12 学年・コースで進路指導について、しっかりした年間計画が立てられている。	19%	56%	75%	13%	6%	19%	6%
	13 生徒一人一人の希望・適性をすくいとるように、こまやかな進路調査をおこなっている。	22%	53%	75%	22%	0%	22%	3%
	14 生徒に対して、生き方や将来のビジョン・進路について考えるよう工夫している。	39%	55%	94%	6%	0%	6%	0%
保護者	9 自分の生き方や将来を考えるような進路指導がされている。	30%	44%	74%	14%	3%	18%	8%
	10 きめ細かい指導がされていて、説明会などの機会も適切に設定されている。	33%	42%	75%	16%	3%	19%	7%
生徒	8 進路について、一人一人に適した丁寧な指導がされている。	39%	35%	75%	16%	4%	20%	6%
	9 進路について、説明会や見学・研修がよく設定されている。	43%	39%	82%	11%	2%	13%	6%
分析と措置と目標 どの項目においてもA+Bの数値が74%以上の数値となり、特に教職員の質問項目14については94%と高い数値となった。生徒と保護者が同じ情報を共有できるよう、次年度は保護者向け学年別の進路ガイダンスを実施する必要性を感じる。次年度から新課程の入試が始まるため、生徒や保護者に最新の入試動向など、情報をいち早く伝達するシステムを担任を含めて考えていく所存である。								

⑧生活指導		A	B	A+B	C	D	C+D	E
教職員	15 生徒指導において、家庭との連携・説明・認識の共有ができています。	45%	45%	90%	3%	0%	3%	6%
	16 生徒指導全般において、威圧的にならないよう言葉遣いに注意している。	56%	25%	81%	16%	0%	16%	3%
	17 いじめの早期対応について、生徒の変化や動向を意識した態勢がとれている。	38%	44%	81%	13%	0%	13%	6%
保護者	11 学校の生徒指導（遅刻、服装、スマホなど）の方針に共感・納得できる。	36%	35%	71%	18%	8%	26%	4%
	12 学校は、いじめや問題行動に対して真剣に対応している。	23%	34%	57%	14%	4%	18%	25%
生徒	10 生活態度や学習態度などの基本的習慣の確立に力を入れている。	28%	42%	70%	19%	5%	24%	7%
	11 先生は、いじめなど困っていることについて真剣に対応してくれる。	30%	33%	63%	18%	6%	24%	14%
分析と措置と目標 生活指導面における教職員の意識に関しては、今まで以上に生徒に対しての言葉遣いや態度などに気をつけ、また、家庭との密な連携は昨年度と同様に高いポイント数であり、年々丁寧な生活指導が実施できていると感じる。しかし、いじめに繋がるような生徒の動向などにはしっかりと目を向けることができていると感じており、それが保護者や生徒にも伝わっているのか、いじめ問題行動における項目において昨年度と比較すると、「わからない」25%（事象に係わったことがない方々が選択されたか）の影響もあり、教職員に対する評価は20%以上上がった数値が出ている。								

⑨公共心・防犯・(防災)		A	B	A+B	C	D	C+D	E	
教職員	18	すべての教育活動を通じて、社会規範や公共心・道徳心を大切に育まれている。	28%	59%	88%	13%	0%	13%	0%
	19	情報モラル・薬物濫用、交通安全について人権や健康・安全の観点から強く指導している。	53%	41%	94%	6%	0%	6%	0%
保護者	13	学校は、命を大切にしている心や、社会のルールを守る態度を育てようとしている。	31%	44%	75%	13%	1%	14%	10%
生徒	12	命の大切さや社会のルール・防犯・防災についての意識を育てようとしている。	36%	40%	76%	18%	3%	20%	4%
	13	地震や火災などが起こったときに、どう行動したらよいか、知らされている。	27%	36%	63%	24%	6%	30%	8%
分析と措置と目標		<p>今年度、大阪880万人訓練を全体で実施できておらず、その影響か、生徒や保護者は防犯や防災などの学校の意識が低いと捉えたのかもしれない。命を大切に育む心や育む取り組みにおいては、年度終わりに実施したサヘルローズさんの講話がそれに対応するものであるが、アンケート実施後だったため、評価には反映されていないように思う。教職員においては、様々な講習会の実施や研修を行い、高いポイント数が示されている。</p>							

⑩心と人権		A	B	A+B	C	D	C+D	E	
教職員	20	生徒一人一人に対して、公平に、人権を尊重した対応をしている。	47%	41%	88%	13%	0%	13%	0%
保護者	14	学校には、心身の悩みについて相談しやすい先生がいるようである。	29%	34%	64%	15%	4%	19%	17%
	15	生徒の人権・プライバシーがよく守られ、尊重されている。	30%	42%	72%	12%	3%	15%	13%
生徒	14	悩みや相談に親身になって答えてくれ、気軽に相談することができる先生がいる。	33%	28%	61%	19%	11%	31%	11%
	15	人権の大切さを学んだり、考えたりする機会がある。	35%	36%	71%	21%	2%	24%	6%
分析と措置と目標		<p>項目20は1%の下落で教員の意識にほとんど変化が見られないが、保護者は昨年度と比較し項目14、15においてA+B評価がいずれも10%以上下落している。生徒の項目15についても同じく10%の下落となった。この原因として各学期で人権ホームルームを実施することを目標としてきたが、カリキュラムの関係上2年生の2学期、3年生の3学期が実施できなかったこと。また生徒・保護者と、教員の人権に対する意識の相違や信頼関係を構築することができなかったことも背景にあると考えられる。積極的に生徒との時間を共有し相互理解を図り、さらに保護者との連携を今まで以上に密にする必要があると感じる。またスクールカウンセラーに変わる、生徒が気軽に相談できる専門部署の開設も必要かもしれない。</p>							

⑪学校設備		A	B	A+B	C	D	C+D	E	
教職員	23	ICT機器・教材を活用した授業方法について、意欲的に研究・実践している。	30%	39%	70%	27%	0%	27%	3%
	24	学校の施設・設備・備品など、快適な教育環境をととのえるよう努力されている。	24%	42%	67%	30%	0%	30%	3%
保護者	17	学校の施設・設備は教育環境として適切に整っている。	58%	34%	91%	4%	1%	5%	3%
生徒	17	ICT機器・教材をうまく活用した授業が行われている。	35%	38%	72%	18%	5%	23%	6%
分析と措置と目標		<p>今回の質問内容について昨年度に続き、特に保護者の方から高い評価をいただいていることは非常にありがたいことである。教職員も含め、iPadの使用頻度が高くなってきたことから「繋がりにくい」「アプリが動かない」などの不具合が頻繁に見られるようになってきた。その都度、ICT指導補助員に迅速に対応してもらっている。設備の不良によって教育活動に支障が出ないよう、引き続き不足のない対応と体制を工夫していきたい。</p>							

⑫特別活動		A	B	A+B	C	D	C+D	E	
教職員	25	クラブ活動について生徒が生き生きと取り組めるよう指導している。	33%	48%	82%	15%	0%	15%	3%
保護者	18	学校はクラブ活動や学級活動をはじめとする特別活動に力を入れている。	42%	38%	80%	7%	1%	8%	13%
生徒	18	クラブ活動は活発で積極的に行われている。	45%	27%	72%	12%	3%	15%	14%
分析と措置と目標		<p>本年度のクラブ活動加入率は、運動部17.6%、文化部26.4%と全校生徒に対して44.0%である。昨年度に比べて運動部が1.7ポイント減、文化部が2.0ポイント増で全体としても0.3ポイント増と増えているのだが、運動部の加入率が減っている分、昨年度よりA+Bの割合が下がった要因の一つであると考えられるが、生徒のEの回答が14%もあるのは、より各クラブの活動をアピールできる場を考えないといけないと思う。</p>							

3年 保護者

特進といって生徒募るのであれば看護と混合ではなく特進のみでクラス編成をしていただきたかったです。
雨風のと看、通学路の歩道橋使用は近年地震も多いため横断歩道の使用を認めていただきたい。通学カバンをもう少し大きい方が持ちやすいのではと感じました。
指定コート以外のアウターの着用も認めていただきたいです。
先生方は行事・進路指導など大変感謝の気持ちです。
もっとインスタやHPでどんな独自の教育活動に取り組んでいるのか、工夫しているのか？について発信がほしいです。ちゃんとやってくれていると思いますが、実際のところはよくわからないと感じているのがほとんどです。

2年 保護者

式典中のセーター・タイツをOKにしてほしい。かぜを引きます。
通学リュックが小さい。1回1回フタを開けてチャックを開けるのが面倒。文化祭・体育祭は時間を決めて携帯を使用させてもいいのではないか。
授業以外はスマホを使用許可してほしい。防寒具や靴下は黒であれば許可しては？不便すぎます。
御校に通学させていただき本当に感謝しております。
特進なのに大学受験の講習など、夏・冬休みも含めて少なくて残念。本人のやる気があれば見てくれるとの事ですが、強制的な講習を増やしてほしい。
学校指定以外のコートでも着用を許可してほしい。
エアコン清掃は業者に依頼していただきたいです。
靴下の指定はやめてほしい。高すぎます。ものすごく負担です。
スマホで、このアンケートを取れるようになると良いと思います。

1年 保護者

下足室の1番下を使っている生徒が使いつらい。下を向くのでほこりを吸っている。まわりの生徒が気づかずこけている姿を見かけるので改善してください。
体調不良や生理でしんどいのにな部活を休めない空気がある。
授業をどうすれば生徒が聞いてくれるか、どの先生も工夫されているのが、子どもの話からよくわかります。宣真に通えることをありがたく思っています。
生徒が困ったとき、相談できる先生や場所があれば良いと思います。または、カウンセラーが毎日おられて接して下さると良いです。また複数名のカウンセラーがおられると心強いです。校則で寄り道しないは厳しい。校則や行事等、生徒の自主性に任せるところがあってもいいと思います。
この1年、本人に合った学校に入学できて本当に良かったと思います。
授業参観と懇談は年1回だけでなく、もっとやってほしい。部活の懇談があればいいなと思う(部則のプリントをもらっただけで、知らなかったこともあった)。
お弁当を食べるとき、冷たくなっているため、残しているときが多いです。電子レンジがあれば助かります。